

平成25年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	静岡県		市町村類型	Ⅲ-0	指定団体等の指定状況		区分		平成25年度(千円)	平成24年度(千円)	区分	平成25年度(千円・%)	平成24年度(千円・%)
					財政健全化等	×	歳入総額	46,681,875					
市町村名	掛川市		地方交付税種地	1-3	財源超過	×	歳出総額	44,811,685	43,473,009	経常収支比率	82.8	84.7	
					首都	×	歳入歳出差引	1,870,190	1,648,474	(※1)	(91.4)	(93.1)	
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	271,869	450,319	標準財政規模	26,524,931	26,357,266	
					中部	○	実質収支	1,598,321	1,198,155	財政力指数	0.91	0.90	
人口	22年国調(人)	116,363	産業構造(※5)		過疎	×	単年度収支	400,166	-203,810	公債費負担比率	15.0	15.9	
	17年国調(人)	117,857			山振	×	積立金	988,937	505,594	健全化判断比率	-	-	
	増減率(%)	-1.3			低開発	×	積立金取崩し額	-	2,193	実質赤字比率	-	-	
住民基本台帳人口(※6)	26.01.01(人)	118,094	第1次	22年国調	4,654	17年国調	6,176	低開発	×	積立金取崩し額	-	-	
	うち日本人(人)	114,854		うち日本人(人)	114,714	指数表選定	○	実質単年度収支	1,389,103	303,977	連結実質赤字比率	-	-
	25.03.31(人)	118,022	第2次	うち日本人(人)	114,714	うち日本人(人)	114,714	指数表選定	○	実質単年度収支	1,389,103	303,977	
	増減率(%)	0.1		うち日本人(%)	0.1	標準財政収入額	21,174,420	21,092,783	標準財政収入額等	21,174,420	21,092,783	資金不足比率(※4)	-
	面積(km ²)	265.63	第3次	うち日本人(%)	0.1	増減率(%)	0.1	標準税収入額等	22,191,177	22,251,679	経常経費充当一般財源等	22,191,177	22,251,679
	人口密度(人/km ²)	438		面積(km ²)	265.63	うち日本人(%)	0.1	歳入一般財源等	32,258,828	30,816,362	歳入一般財源等	32,258,828	30,816,362
世帯数(世帯)	39,497	職員の状況											
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	48,124,889	46,807,854	うち公的資金	35,508,572	34,784,341
	市区町村長	1	9,110	一般職員	643	2,128,973	3,311	債務負担行為額(支出予定額)	10,342,683	9,314,552	収益事業収入	-	-
	副市区町村長	2	7,340	うち消防職員	106	324,360	3,060	土地開発基金現在高	1,747,850	1,747,792	財政調整基金	4,000,122	3,011,185
	教育長	1	6,770	うち技能労務職員	33	105,336	3,192	積立金現在高	-	-	減債基金	-	-
	議会議長	1	4,950	教育公務員	64	207,038	3,235	その他特定目的基金	2,734,923	2,524,640	その他特定目的基金	2,734,923	2,524,640
	議会副議長	1	4,350	臨時職員	-	-	-						
	議会議員	22	4,110	合計	707	2,336,011	3,304						
					ラスパイレス指数			100.2					
一般会計等の一覧	一般会計	事業会計の一覧	事業会計	公営企業(法適)の一覧	公営企業	公営企業(法非適)の一覧	公営企業	関係する一部事務組合等	関係する一部事務組合	地方公社・第三セクター等	地方公社・第三セクター	(※3)	
(1) 一般会計	(5) 国民健康保険特別会計	(8) 水道事業会計	(10) 簡易水道特別会計	(14) 太田川原野谷川治水水防組合一般会計	(24) かけがわ街づくり								
(2) 公共用地取得特別会計	(6) 介護保険特別会計	(9) 病院事業会計	(11) 公共下水道事業特別会計	(15) 東遠広域施設組合一般会計	(25) これしかどころ								
(3) 掛川駅周辺施設管理特別会計	(7) 後期高齢者医療保険特別会計		(12) 農業集落排水事業特別会計	(16) 小笠老人ホーム施設組合一般会計	(26) 森の都ならこ								
(4) 病院事業清算特別会計			(13) 浄化槽市町村設置推進事業特別会計	(17) 浅羽地域湛水防除施設組合一般会計	(27) 掛川市生涯学習振興公社								
				(18) 東遠学園組合一般会計	(28) 大東マリーナ								
				(19) 東遠地区聖苑組合一般会計	(29) 小笠掛川勤労者福祉サービスセンター								
				(20) 静岡県大井川広域水道企業団静岡県大井川広域水道企業団水道用水供給事業会計	(30) 掛川市土地開発公社								
				(21) 中東遠看護専門学校組合中東遠看護専門学校組合会計									
				(22) 掛川市・菊川市衛生施設組合掛川市・菊川市衛生施設組合会計									
				(23) 東遠工業用水道企業団東遠工業用水道事業会計									

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4：資金不足比率には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
 ※6：住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単位:千円・%)					地方税の状況(単位:千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	20,759,894	44.5	19,156,429	78.9	普通税	19,115,820	92.1	-	
地方譲与税	524,825	1.1	524,825	2.2	法定普通税	19,115,820	92.1	-	
利子割交付金	39,627	0.1	39,627	0.2	市町村民税	8,482,656	40.9	-	
配当割交付金	64,911	0.1	64,911	0.3	個人均等割	186,220	0.9	-	
株式等譲渡所得割交付金	113,545	0.2	113,545	0.5	所得割	6,236,629	30.0	-	
地方消費税交付金	1,187,538	2.5	1,187,538	4.9	法人均等割	384,933	1.9	-	
ゴルフ場利用税交付金	77,066	0.2	77,066	0.3	法人税割	1,674,874	8.1	-	
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	固定資産税	9,526,839	45.9	-	
自動車取得税交付金	195,772	0.4	195,772	0.8	うち純固定資産税	9,523,259	45.9	-	
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	275,384	1.3	-	
地方特例交付金	71,036	0.2	71,036	0.3	市町村たばこ税	826,820	4.0	-	
地方交付税	3,681,639	7.9	2,827,294	11.6	鉱産税	-	-	-	
普通交付税	2,827,294	6.1	2,827,294	11.6	特別土地保有税	4,121	0.0	-	
特別交付税	854,332	1.8	-	-	法定外普通税	-	-	-	
震災復興特別交付税	13	0.0	-	-	目的税	1,644,074	7.9	-	
(一般財源計)	26,715,853	57.2	24,258,043	99.9	法定目的税	1,644,074	7.9	-	
交通安全対策特別交付金	26,540	0.1	26,540	0.1	入湯税	40,609	0.2	-	
分担金・負担金	611,675	1.3	-	-	事業所税	-	-	-	
使用料	535,580	1.1	-	-	都市計画税	1,603,465	7.7	-	
手数料	77,320	0.2	-	-	水利地益税等	-	-	-	
国庫支出金	5,190,258	11.1	-	-	法定外目的税	-	-	-	
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-	
都道府県支出金	2,846,344	6.1	-	-	合計	20,759,894	100.0	-	
財産収入	126,507	0.3	-	-					
寄附金	71,223	0.2	-	-					
繰入金	481,916	1.0	-	-					
繰越金	1,648,474	3.5	-	-					
諸収入	2,568,085	5.5	467	0.0					
地方債	5,782,100	12.4	-	-					
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-					
うち臨時財政対策債	2,523,000	5.4	-	-					
歳入合計	46,681,875	100.0	24,285,050	100.0					

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況			
合計	5,556,431	実質収支	481,759		
下水道	1,209,702	再差引収支	197,448		
病院	1,176,446	加入世帯数(世帯)	16,241		
上水道	153,342	被保険者数(人)	29,048		
簡易水道	4,485	被保険者	1人当り	保険税(料)収入額	100
国民健康保険	699,182	国庫支出金		71	
その他	2,313,274			保険給付費	242

歳入の状況(単位:千円・%)					
目的別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	289,326	0.6	-	289,326	
総務費	5,211,799	11.6	386,750	4,431,171	
民生費	11,351,666	25.3	324,891	6,061,128	
衛生費	5,114,325	11.4	265,061	4,719,731	
労働費	1,305,141	2.9	-	10,297	
農林水産業費	1,270,384	2.8	568,250	894,260	
商工費	838,512	1.9	220,931	720,466	
土木費	6,071,615	13.5	3,953,564	3,396,591	
消防費	1,769,524	3.9	302,393	1,181,066	
教育費	6,348,299	14.2	2,388,880	3,764,675	
災害復旧費	103,275	0.2	-	75,687	
公債費	5,137,819	11.5	-	4,844,240	
諸支出費	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	44,811,685	100.0	8,410,720	30,388,638	

性質別歳入の状況(単位:千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	17,606,502	39.3	12,318,094	12,280,172	45.8
人件費	6,035,547	13.5	5,511,613	5,473,691	20.4
うち職員給	4,229,963	9.4	3,754,594	-	-
扶助費	6,433,136	14.4	1,962,241	1,962,241	7.3
公債費	5,137,819	11.5	4,844,240	4,844,240	18.1
元利償還金	5,136,746	11.5	4,843,167	4,843,167	18.1
内 うち元金	4,465,065	10.0	4,202,975	4,202,975	15.7
訳 うち利子	671,681	1.5	640,192	640,192	2.4
一時借入金利子	1,073	0.0	1,073	1,073	0.0
その他の経費	18,691,188	41.7	14,890,549	9,911,005	37.0
物件費	6,374,990	14.2	4,962,197	3,838,314	14.3
維持補修費	502,965	1.1	431,259	429,738	1.6
補助費等	4,292,647	9.6	3,932,065	2,546,387	9.5
うち一部事務組合負担金	1,367,623	3.1	1,367,440	1,271,490	4.7
繰出金	4,223,143	9.4	3,879,286	3,096,566	11.6
積立金	1,681,136	3.8	1,331,206	-	-
投資・出資金・貸付金	1,616,307	3.6	354,536	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	8,513,995	19.0	3,179,995	89,215	
うち人件費	94,549	0.2	89,215	-	-
普通建設事業費	8,410,720	18.8	3,104,308	-	-
うち補助	2,848,371	6.4	294,509	-	-
うち単独	5,295,167	11.8	2,676,067	-	-
災害復旧事業費	103,275	0.2	75,687	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	44,811,685	100.0	30,388,638	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

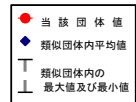
平成25年度 静岡県掛川市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	46,741	44,874	1,867	1,595	509	48,125	
2 公共用地取得特別会計	304	44	260	260	44	-	
3 掛川駅周辺施設管理特別会計	122	119	3	3	5	-	
4 病院事業清算特別会計	1,898	1,597	301	-	187	-	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296	</						

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

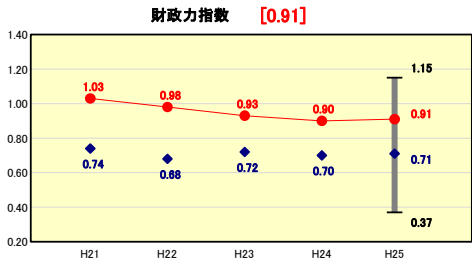
人口	118,094	人(H26.1.1現在)	-	%
うち日本人	114,854	人(H26.1.1現在)	-	%
面積	265.63	km ²	-	%
歳入総額	46,681,875	千円	11.0	%
歳出総額	44,811,685	千円	102.7	%
実質収支	1,598,321	千円		
標準財政規模	26,524,931	千円		
地方債現在高	48,124,889	千円		



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記しない。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。

財政力

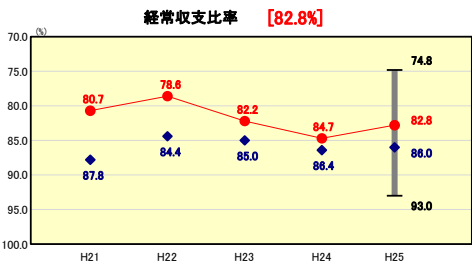
類似団体内順位 2/11 全国平均 0.49 静岡県平均 0.79



財政力指数の分析欄
 平成25年度3か年平均の財政力指数は0.91と類似団体中第2位となっている。平成25年度単年度でも、財政力指数は、0.91であり、市税収入の低迷等により、平成21年度以降5年連続で財源不足団体となっている。今後も引き続き市税増収施策を展開するとともに、人件費の削減等、歳出削減をすすめ財政基盤の強化に努める。

財政構造の弾力性

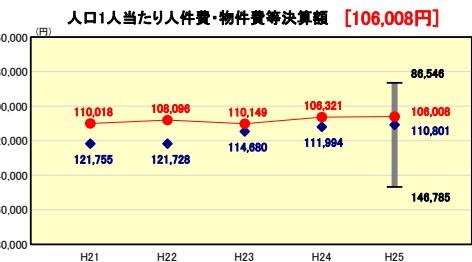
類似団体内順位 2/11 全国平均 90.2 静岡県平均 86.8



経常収支比率の分析欄
 平成25年度は、経常一般財源等では、市税のうち市民税とたばこ税、臨時財政対策債の増等により、対前年度比535百万円の増となった。また、経常経費充当一般財源は、定年退職手当や新病院建設事務組合負担金の減等により、対前年度比△61百万円の減となった。
 この結果、経常収支比率は82.8%と前年度から△1.9ポイント下がった。起債の抑制、定員適正化計画に基づく職員削減等により経常経費を削減するとともに、使用料等の見直しを行い、財源確保に努める。

人件費・物件費等の状況

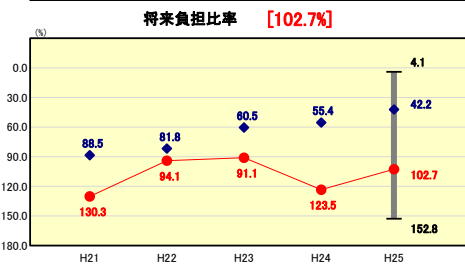
類似団体内順位 4/11 全国平均 116,288 静岡県平均 106,498



人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄
 平成25年度は、定年退職手当及び緊急雇用対策事業費の減等により、人口1人当たり人件費・物件費等決算額は対前年度比△313円の減となった。
 全国平均、県平均及び類似団体平均に比べ低くなっているのは、定員適正化計画に基づく職員削減により人件費の抑制を進めたことが主な要因である。ただし、物件費については、施設の維持管理経費の増大に伴い類似団体平均を上回っていることから、今後も委託内容等の見直しや経費節減に努め物件費全体額の抑制を行う。

将来負担の状況

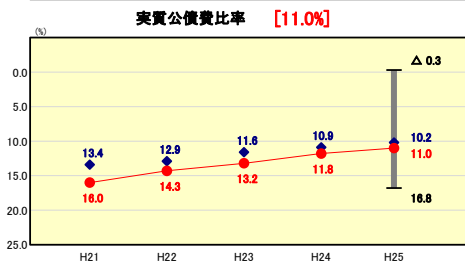
類似団体内順位 8/11 全国平均 51.0 静岡県平均 42.0



将来負担比率の分析欄
 平成25年度は、中東遠総合医療センター退職給付引当金負担金にかかる債務負担行為に基づく支出予定額及び合併特例事業による一般会計の地方債残高が増加したものの、病院企業団が設立され、国の定める公営企業に対する繰出基準に基づく算定方法に変更となったため、組合等負担等見込額は減少した。このため、将来負担額は対前年度比△4,001百万円の減となり、将来負担比率は、対前年度比△20.8ポイント減となった。

公債費負担の状況

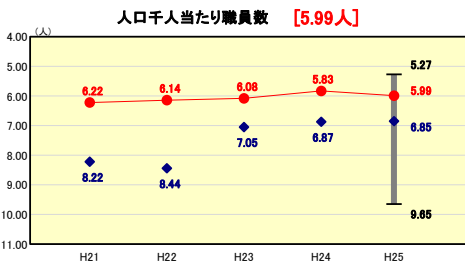
類似団体内順位 7/11 全国平均 8.6 静岡県平均 9.7



実質公債費比率の分析欄
 遅れていた公共施設の整備を推進するため積極的に地方債を活用してきたこと、特別養護老人ホームや幼保園建設の債務負担行為、公共下水道事業の繰出金の増大等により比較的高い比率で推移しているが、近年繰上償還の実施等により単年度の比率は低くなってきており、3か年平均では前年度比△0.8ポイント減となった。
 実質公債費比率抑制のため、市債発行額をできるかぎり抑えるほか、市税収入の増収施策(企業誘致等)を展開し自主財源の確保に努める。

定員管理の状況

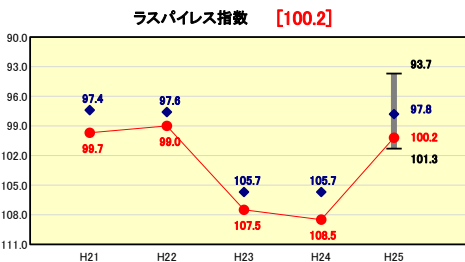
類似団体内順位 2/11 全国平均 6.96 静岡県平均 6.61



人口千人当たり職員数の分析欄
 人件費の抑制は行財政改革の主要項目として重視しており、定員適正化計画において平成27年度当初までの10年間で128人の行政職員を削減するという目標値を定めている。この目標値を達成するため、事務事業のアウトソーシング等を積極的に進め、平成24年度には目標を2年前倒しで達成した。平成25年度は、中東遠総合医療センター開院による人事異動(職員派遣)に伴い、人口千人当たり職員数は、増加している。しかしながら、企業会計等を含む市全体では、行政職員をさらに△17人削減し、平成17年度比△145人となった。今後も引き続き行財政改革の取組を進めていく。

給与水準 (国との比較)

類似団体内順位 9/11 全国市平均 98.6 全国町村平均 95.6



ラスパイレス指数の分析欄
 当市のラスパイレス指数は、前年比△8.3ポイント減となった。主要因としては、国家公務員給与削減措置の終了と、職員構成及び昇格年齢の違いが考えられる。
 今後とも、年功的な給与上昇の抑制と職務・職責に応じた俸給構造への転換を実施するとともに、能力・実績主義に基づく人事・給与と制度の導入、適正な昇給制度を構築し、給与の適正化を図っていく。
 また、時間外手当の抑制など行政改革への取り組みを通じて、人件費の削減に努めている。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成25年度

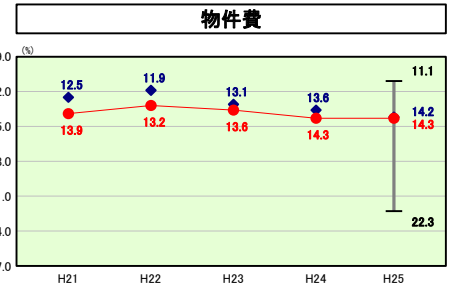
静岡県掛川市

経常収支比率の分析

人口	118,094	人(H26.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	114,854	人(H26.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	265.63	km ²	実質公債費比率	11.0	%
歳入総額	46,681,875	千円	得率負担比率	102.7	%
歳出総額	44,811,685	千円	市町村類型	H21 III-O H22 III-O H23 III-O	
実収支	1,598,321	千円	(年度毎)	H24 III-O H25 III-O	
標準財政規模	26,524,931	千円			

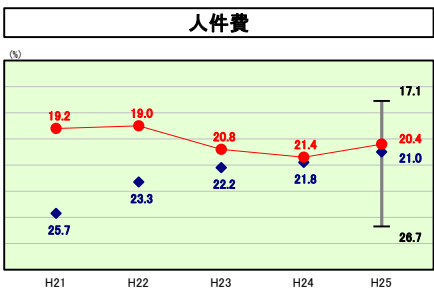


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。



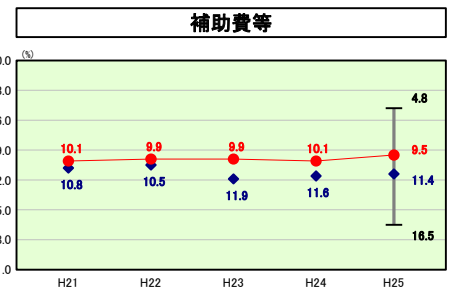
物件費の分析欄

平成25年度は、物件費における経常経費充当一般財源等の額が増加したものの、母母である経常一般財源等が市税(市民税・たばこ税)や臨時財政対策債の増等により前年度比 535百万円の増となったため、前年度と同じ14.3%となった。施設の維持管理経費の増大に伴い全国平均及び類似団体平均を上回っているため、今後も委託内容等の見直しや経費削減に努め、物件費全体額の抑制に努める。



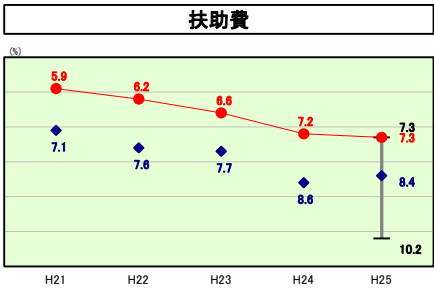
人件費の分析欄

人件費における経常経費充当一般財源のうち、一般職の職員給が増加したものの、定年退職手当、普通退職手当、議員報酬等が減少したため、前年度比 Δ1.0ポイント減少した。定員適正化計画に基づく職員削減、平成22年度からの特別職給料及び管理職手当の減額の実施により、全国平均、県平均及び類似団体平均に比べ低くなっている。



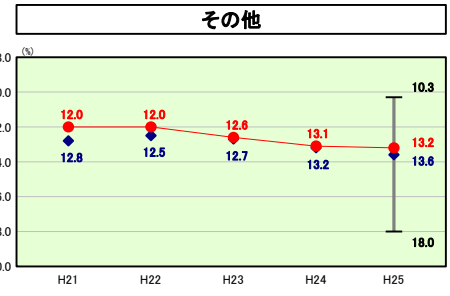
補助費等の分析欄

平成25年度は、新病院建設事務組合負担金の皆減に伴い補助費等における経常経費充当一般財源等の額が減少した。また、母母である経常一般財源等が市税(市民税、たばこ税)や臨時財政対策債の増等により前年度比 535百万円となったため、前年度比 Δ0.6ポイントの減となった。行政改革審議会及び市独自の見直し等による補助金削減(補助内容の適正化)を引き続き実施する。



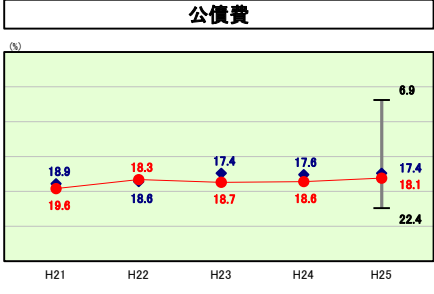
扶助費の分析欄

障害者・障害児介護給付費は減となったものの、児童手当給付費、子ども医療助成費、障害者訓練等給付費、私立保育園運営費などの増により、扶助費は前年度に比べて増加している。このため、全国平均、県平均及び類似団体平均よりも低くなっているものの対前年度比 0.1ポイント増となっている。



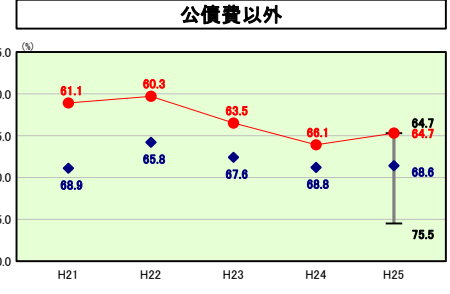
その他の分析欄

類似団体平均は下回っているものの、全国平均、県平均をとみに上回っている。その他 13.2%のうち主なものは繰出金 11.6%で、平成25年度においては、介護保険、公共下水道等の特別会計への繰出金が前年度から増加しており、今後においても、特別会計の経費節減などにより、普通会計の負担軽減を図っていく。



公債費の分析欄

遅れていた公共施設の整備を推進するため積極的に地方債を活用してきたことなどから、比較的高い比率で推移してきたが、繰上償還の実施などにより公債費は減少してきており、前年度比 Δ0.5ポイント減少した。今後も、防災対策等の緊急的に対応すべき施策を推進しつつ市債発行額をできるかぎり抑えるほか、繰上償還の実施により公債費縮減を図る。



公債費以外の分析欄

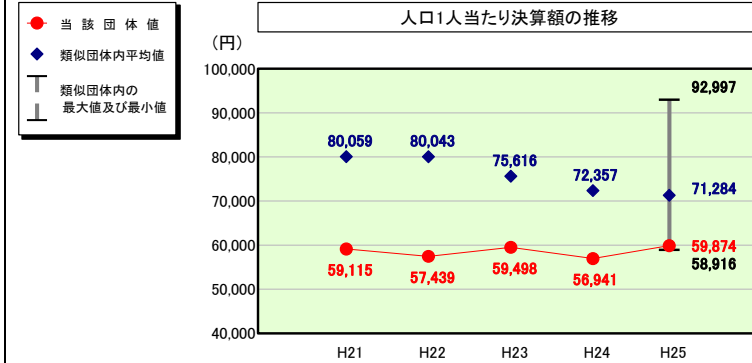
公債費以外に係る経常収支比率は、昨年度と比較して Δ1.4ポイント減少している。類似団体中ではもっとも低い64.7%で、全国平均と県平均とも下回っている。これは職員削減による人件費の抑制が主な要因であると考えられる。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成25年度

静岡県掛川市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

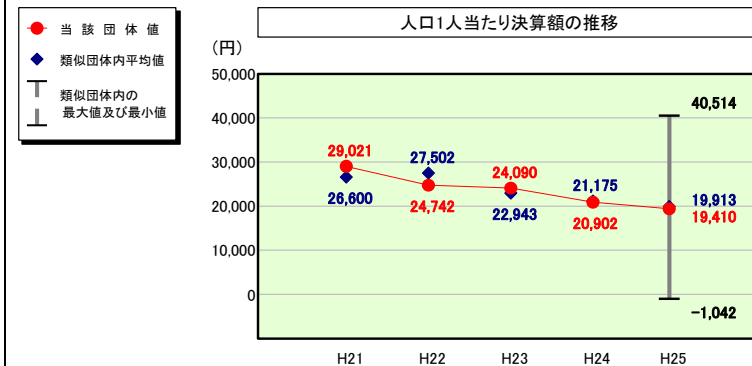
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	6,035,547	51,108	59,773	▲14.5
賃金(物件費)	706,629	5,984	6,322	▲5.3
一部事務組合負担金(補助費等)	133,567	1,131	6,819	▲83.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	393,376	3,331	1,222	172.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	196,155	1,661	2,415	▲31.2
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	94,549	801	1,944	▲58.8
▲退職金	▲489,104	▲4,142	▲7,211	▲42.6
合計	7,070,719	59,874	71,284	▲16.0

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	5.99	6.85	▲0.86
ラスパイレズ指数	100.2	97.8	2.4

(注) 住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口を記載している。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

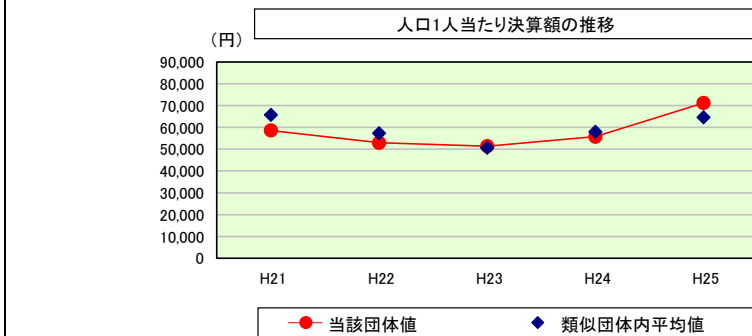


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	5,209,159	44,110	44,446	▲0.8
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	38	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	931,038	7,884	14,225	▲44.6
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	599,749	5,079	2,871	76.9
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	680,019	5,758	2,448	135.2
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	1,073	9	3	200.0
▲特定財源の額	▲1,417,638	▲12,004	▲6,263	91.7
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲3,711,234	▲31,426	▲37,855	▲17.0
合計	2,292,166	19,410	19,913	▲2.5

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

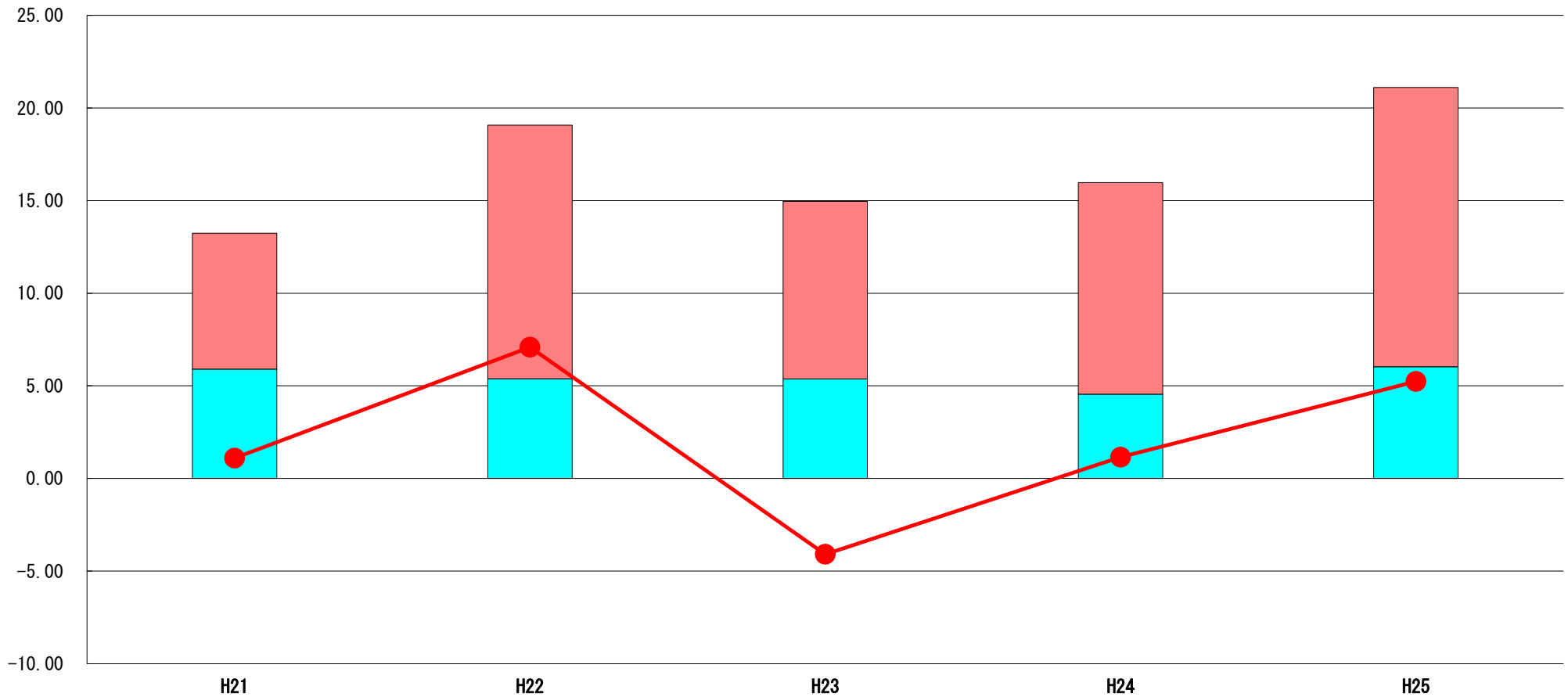
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H21	6,768,089	58,624	▲8.5	65,749	▲12.7	4.2
うち単独分	4,821,391	41,762	0.2	37,181	▲18.1	18.3
H22	6,107,254	52,940	▲9.7	57,316	▲12.8	3.1
うち単独分	4,081,040	35,376	▲15.3	32,233	▲13.3	2.0
H23	5,921,890	51,420	▲2.9	50,671	▲11.6	8.7
うち単独分	4,324,384	37,548	6.1	30,499	▲5.4	11.5
H24	6,576,646	55,724	8.4	57,996	▲14.5	6.1
うち単独分	4,466,044	37,841	0.8	32,288	5.9	5.1
H25	8,410,720	71,221	27.8	64,620	11.4	16.4
うち単独分	5,295,167	44,839	18.5	37,260	15.4	3.1
過去5年間平均	6,756,920	57,986	3.0	59,270	▲2.2	5.2
うち単独分	4,597,605	39,473	2.1	33,892	▲3.1	5.2

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）




平成25年度

静岡県掛川市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H21	H22	H23	H24	H25
 財政調整基金残高		7.34	13.69	9.59	11.42	15.08
 実質収支額		5.90	5.38	5.37	4.55	6.03
 実質単年度収支		1.10	7.09	▲ 4.09	1.15	5.24

分析欄

平成25年度の財政調整基金残高は前年度に比べて3.66ポイントの増となっている。前年度の残高 3,011百万円から 989百万円増加し、4,000百万円となった。これは市税や普通交付税の収入増とあわせて、今後の財政需要に備えて財源確保に努めた結果である。

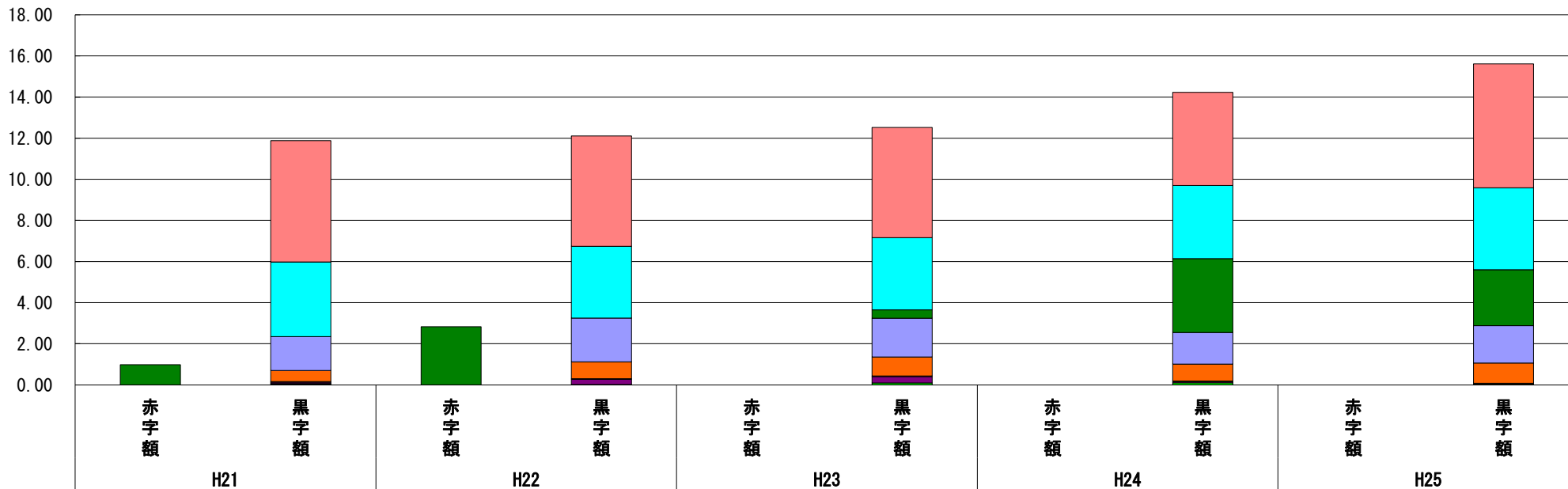
実質収支は5%前後を推移している。今後とも歳出において適正な事業執行と歳出削減の両面に配慮するとともに、入札差金等の不用額の留保に努める。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

平成25年度

静岡県掛川市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

会計	年度	H21	H22	H23	H24	H25
一般会計		5.90	5.37	5.36	4.53	6.02
水道事業会計		3.63	3.49	3.51	3.56	3.99
病院事業会計		▲ 0.98	▲ 2.83	0.41	3.59	2.72
国民健康保険特別会計		1.65	2.13	1.88	1.54	1.82
公共用地取得特別会計		0.54	0.82	0.93	0.82	0.98
簡易水道特別会計		0.03	0.03	0.03	0.03	0.03
介護保険特別会計		0.07	0.25	0.31	0.06	0.03
後期高齢者医療保険特別会計		0.02	0.01	0.08	0.09	0.01
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.04	0.01	0.01	0.01	0.01

分析欄

病院事業会計は、前年度比 △0.87ポイント悪化したものの、3年連続で黒字となっている。これは、平成20～22年度に医師の退職不補充など医師不足から患者数が減少し、医業収益が落ち込んだことから資金不足が生じたため、平成23年度以降は、市立病院の閉院に向けて、一般会計繰入金増額により資金不足の解消を行ったこと等による。一般会計の実質収支は、昨年度より1.49ポイント改善された。また、特別会計及び企業会計において赤字はなく健全な状態である。今後も各会計において適正な財政運営に努める。

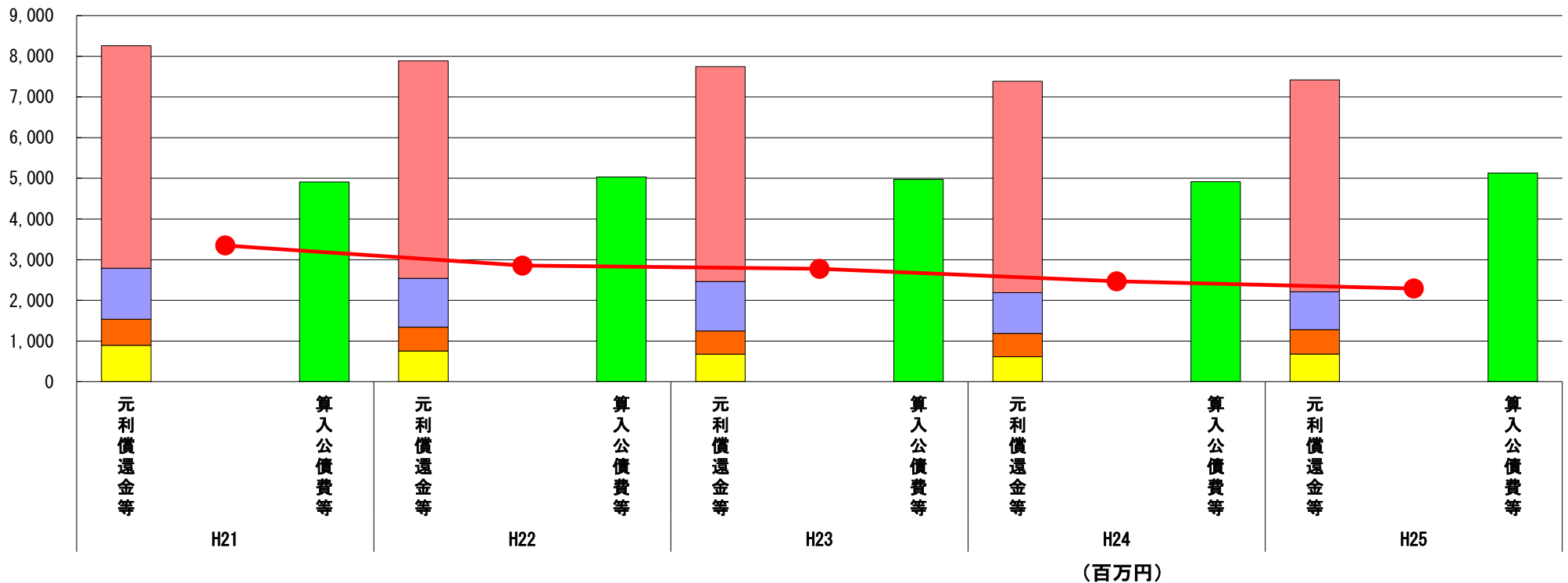
※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

静岡県掛川市

(百万円)



分子の構造		年度				
		H21	H22	H23	H24	H25
元利償還金等 (A)	元利償還金	5,472	5,347	5,284	5,197	5,209
	減債基金積立不足算定額	-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	1,255	1,201	1,215	1,001	931
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	639	583	572	576	600
	債務負担行為に基づく支出額	894	755	675	611	680
	一時借入金の利子	2	2	1	1	1
算入公債費等 (B)	算入公債費等	4,911	5,034	4,973	4,918	5,129
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	3,351	2,854	2,774	2,468	2,292

分析欄

病院清算特別会計の地方債元利償還金や中東遠総合医療センター退職給付引当金負担金については皆増したものの、特定財源としての都市計画税充当可能額及び普通会計の交付税算入額が増加したため、平成25年度の実質公債費比率の分子合計は、前年度に比べて△176百万円の減で、平成19年度以降、6年連続で減少している。

今後も新規発行地方債の抑制に努めるなど、プライマリーバランスの黒字化に配慮し、さらに比率の改善を図る。

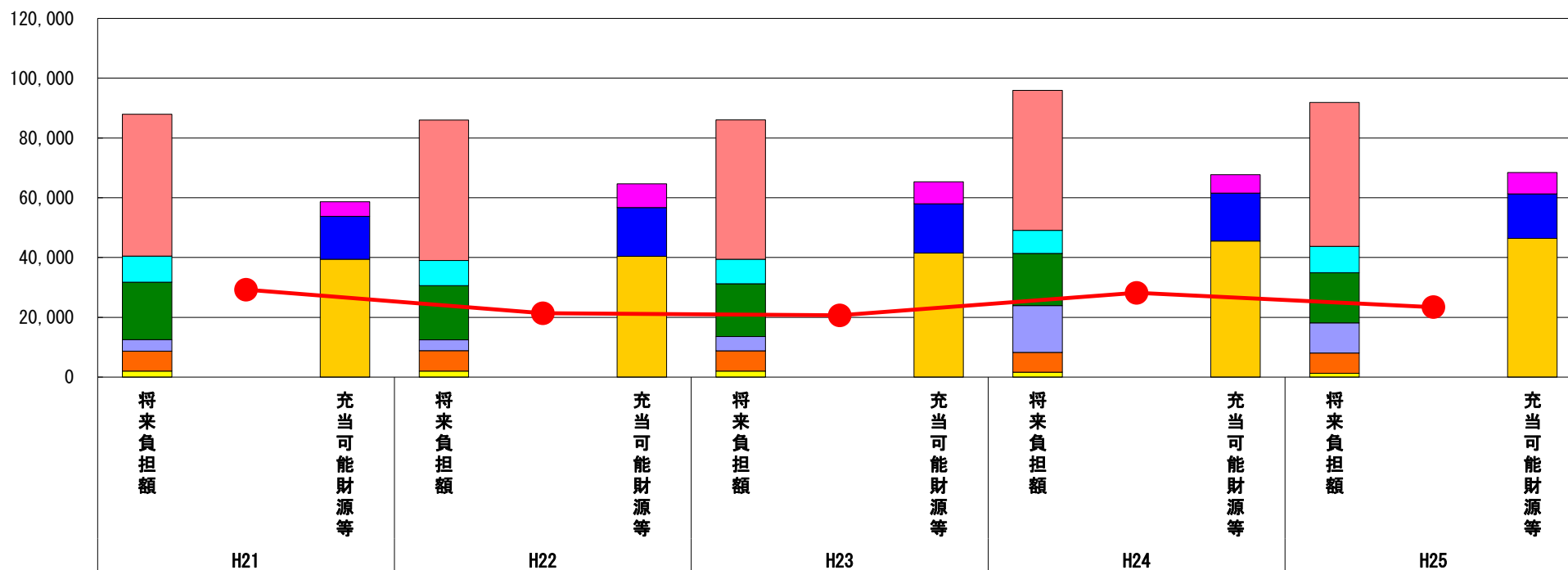
※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成25年度

静岡県掛川市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H21	H22	H23	H24	H25
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		47,442	46,968	46,582	46,808	48,125
	債務負担行為に基づく支出予定額		8,729	8,435	8,201	7,692	8,828
	公営企業債等繰入見込額		19,189	18,124	17,660	17,462	16,798
	組合等負担等見込額		3,865	3,613	4,777	15,633	10,085
	退職手当負担見込額		6,645	6,818	6,788	6,616	6,771
	設立法人等の負債額等負担見込額		2,043	2,023	2,005	1,672	1,275
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		4,901	7,920	7,388	6,149	7,177
	充当可能特定歳入		14,363	16,286	16,427	16,013	14,865
	基準財政需要額算入見込額		39,412	40,414	41,539	45,542	46,405
(A) - (B)	将来負担比率の分子		29,236	21,362	20,658	28,178	23,435

分析欄

臨時財政対策債や合併特例債等の交付税措置が大きい市債の発行残高が増加したことや、財政調整基金や地震・津波対策整備基金などの充当可能基金が増加したことから、充当可能財源等は対前年度比742百万円の増となった。

また、債務負担行為に基づく支出予定額は、中東遠総合医療センター退職給付引当金負担金が増えたものの、掛川市・袋井市病院企業団の負担見込額は、企業団設立により減少したため、将来負担額は対前年度比△4,001百万円の減となり、将来負担比率の分子合計は対前年度比△4,743百万円の減となった。

※平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。